

2009.11

シルバー こうべ

編集発行：(財)神戸いきいき勤労財団
神戸市シルバー人材センター

〒651-0096 神戸市中央区雲井通5丁目3-1(サンパル10階)

●東部センター/857-3601 ●西区センター/993-0066

●中部センター/521-8000 ●北区センター/596-3181

●西部センター/621-6880 ●本 部/252-0316

電話番号はおかけ間違いのないようお願いします

ホームページ <http://www.kobe-sjc.or.jp>



シルバー人材センター主催行事に 積極的に参加しましょう



会員の皆さまにおかれては、健康第一・安全第一をモットーに、臨時的・短期的なお仕事に就いておられますが、たんに就業するだけでなく、シルバー人材センターが実施する様々な行事などにも積極的に参加していただきたいと考えています。

シルバー人材センターでは、会員の皆さまが就業に必要な知識や技術を習得していただくための研修会や、広く安全や健康づくりのための講習会を行っているほか、地域に貢献するクリーン作戦などを実施し、また、神戸まつりや全員集合などの各種イベントにも積極的に参加しています。



交通安全講習会

シルバー人材センターの基本理念である自主・自立、共働・共助の具現化のため、会員の皆さま自身が、各センターや本部事務局と連携して、研修・会員間交流・就業機会の一層の開拓・新規入会者の促進・ボランティア活動などに前向きに取り組んでいただきたいと思ひます。



健康増進研修

来年1月と3月に実施予定の「福祉・家事援助サービス会員養成研修」「家事援助技能向上研修」をご案内しています。福祉・家事援助班の方以外の一般会員の方も申込できますので、奮ってご参加ください。



植木剪定研修



全員集合



クリーン作戦

配分金支払日のお知らせ

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分
11月16日(月)	12月15日(火)	1月19日(火)	2月15日(月)	3月15日(月)



「自然満喫の中で」

六甲山牧場



六甲山牧場の風景

緑の森、草いきれ、青い空、白い羊、点在する赤い三角屋根の施設・・・六甲山牧場は神戸みよりの公社所管の施設で昭和21年開設、昭和51年一般向け開所の歴史ある体験型観光スポットです。大自然の中で男女会員24名が料金所管理、チーズ館清掃、牧場営繕・清掃と三種類の作業にシフトして就業しています。



六甲山牧場の銘を刻んだ石と河村副場長

六甲山牧場の河村副場長さんの言葉では「送迎バスの時間制約があり途中退所もできず不便性も大きい職場です。また土、日、連休に来客が集中化、しかも時間的ピークがあって、特に入場料(大人500円、子供200円)と駐車料(500円)を扱う料金所では昼食も取れないことも間々あり、複雑な割引料金や直接お客様との接遇対話等、苦勞の多い作業です。また牧場の施設管理修理、清掃等もかなりのきつさですが、年齢と経験豊富な点を生かして役立ってもらっています。」と感謝の言葉まで頂きました。

この日は、料金所の会員、工藤さんと女性の山下さんから、現金を取り扱うなど色々な苦勞が多いこと、また、それに対する工夫や努力についてお伺いしました。しかし、早朝、清掃しながら野鳥のさえずりを聞いたり、市街地と比べて5度低い温度差、美味しい空気の中で、すがすがしい気分になるとのことです。

近年の少子化等から観光客もピーク時の半分位となってきており、羊犬の羊追い込みショーや羊を呼び込むシープベル鳴らし、チーズ作り、バター・ソーセージ作り更に陶芸、楽焼等などの多様化した企画で集客に力を注いでいます。

地元神戸の皆さんもぜひもう一度お出掛けになってみてください。



料金所前で会員の工藤さんと山下さん

人生遊歩 シルバーを楽しく

相撲甚句を唄う元気なアラセブン

中央区 山本 澄夫さん

今年の6月にシルバー人材センターに登録された新人会員の山本澄夫さんは、非常に珍しい趣味を楽しんでおられます。それは相撲甚句を唄うことです。

我々には余り馴染みのない相撲甚句ですが、歴史は非常に古く江戸時代の享保の頃から唄われ、幕末から明治時代中頃までは、七・七・七・五の四句で都都逸のように短い四節で唄われておりましたが、その後今のような〔まくら唄〕から〔本唄〕そして〔はやし〕へと一連の流れがある長い相撲甚句になったそうです。



山本さん



軍配と拍子木

現在では、この甚句は地方巡業や花相撲で、力士5～6人が土俵上で輪になり、そのうちの一人が真ん中で唄い、周りの力士が手拍子やドスコイやホイと言った合の手を入れます。その土地の名所甚句を織り交ぜ、しみじみとした節回しで哀愁を交え、また、ユーモアを加えて聞く人に不思議な感銘を与えてくれるそうです。

山本さんと相撲甚句との出会いは、平成10年に神戸相撲甚句会が発足した時です。神戸相撲甚句会は、大相撲大鵬部屋の呼び出しをしていた神戸在住の雑喉護さんが、日本相撲甚句会認証団体の65番目の会として始められましたが、山本さんは当初から参加され、現在も副会長として活躍されています。

また、神戸相撲甚句会には、事務局として西部センター剪定班の上野忠さんも居られ共に頑張っています。

神戸相撲甚句会は、平成11年から主な活動である西部地区大会や全国大会に連続して参加しています。平成15年の西部地区(近畿・四国)彦根大会では団体の部で優勝し、翌16年には国技館で行われる第13回全国大会団体の部でNHK杯(優勝)を獲得しています。今年の第18回全国大会でも、日本大相撲溜会賞(準優勝)を受賞するなど大活躍しています。また、兵庫県立老人大学・神戸市各区ボランティアセンターに登録し、老人ホームを訪問、ボランティア活動、市・県の各種の催し物に参加し相撲甚句を広めるための活動も行っています。

取材した日に山本さん宅でカセットテープで「横綱白鵬を唄った甚句」を聞かせていただきましたが、とても艶のあるお声で71歳とは思いませんでした。

現在でも山本さんは、神戸相撲甚句会の月2回の県民会館での稽古日には会員のみなさんを指導されたり、再度全国大会で優秀な成績を収めるために自分自身も練習に励み、新しい甚句の作詞を行うなどと八面六臂の活躍をされています。



平成16年NHK杯(優勝)



横綱白鵬関と

紙面講座

第3回

『百歳万歳』と認知症

神戸市看護大学 沼本 教子 教授

平成21年9月「敬老の日」に関連した新聞記事の一つに、「百歳以上の高齢者」が全国で4万人を越えた、という記事がありました。皆さん覚えていらっしゃいますか。4万人という数字が多いのかどうか、すぐには判断しかねるところがありますが、私はやはりすごいことだと思います。NHKの『百歳万歳』という番組は私もよく見る、好きな番組ですが、出てくるお年寄り皆さん「元気」な方たちばかりです。役割をもって生き生きと過ごす様子、長寿者として尊敬されている姿を映し出しています。長生きの結果としての「百歳」ですが、百歳を迎える人がみんな「元気」とは限りません。

さて、私が教える学生に「何歳まで生きたいか、生きられるか」と質問すると「80歳以上」は割合少なく、「70歳まででいい」という答えもあって、ちょっとびっくりです。「健康が保てない状態になったら、そんなに長生きしたくない」というのがその理由です。このような傾向はわが大学の学生だけでなく、一般の人にもみられるのではないのでしょうか。その背景にあるのは健康障害、特に「認知症」に対する過度の不安ではないかと推察されます。

ここで確認しておきたいことは、「老いる」と認知症はセットではないということです。認知症はいわゆる症

候群であり、その原因になる疾患は多岐にわたります。したがって若年型の認知症もあり、若い時期での発症ゆえの困難は時に小説や映画のテーマになったりします。しかし一方でやはり「65歳以上の高齢者では13人に1人が、85歳以上では4人に1人が認知症」（1994年、痴呆性老人対策に関する検討会報告-厚生省-他）などの研究結果を見たり聞いたりすると、年齢と認知症の出現率の関連は否定できないとも考えられます。血管の老化とともに「脳血管型認知症」は高齢になればその出現率は上昇します。最も多い原因疾患は脳の神経細胞が変性、減少して脳全体が萎縮する原因不明の「アルツハイマー型認知症」で、これは若い人でも発症します。

肝腎なことは歳をとると誰でも「呆ける」ということではない、ということです。認知症は原因がまだ十分解明されていませんが、歴とした「疾患」なのです。必要以上に心配することは意味がないだけでなく、認知症の診断がついた人を疎外したり、偏見や差別の目で見ることにもつながります。自分が本当に認知症になったとき、周囲の人々から疎外されることを想像してみるとそのつらさが解るのではないのでしょうか。

認知症の初期症状は本人にも自覚され、軽い「うつ状態」と見誤られることもあります。図1は初期の認知症の患者さんによくみられる症状ですが、日常生活に支障が生じるようであれば、早い段階で主治医や専門医に相談したり、身近な場での「物忘れ相談」を利用し、必要があれば早期治療が有効であるといわれています。症状の進行を緩やかにする薬物も開発されています。

いずれにしても、必要以上に認知症をおそれず、心身の活動性（ウォーキングやコミュニケーションを大切にするなど）を保つことで脳の血流を維持し、「もし認知症になっても」安心して生活できる社会が来てほしいと思います。そして、「百歳まで生きたい」とみんなが思えるような社会をめざしていきたいものです。みなさんはどのようにお考えですか。



福祉・家事援助サービス会員養成研修 受講生募集

福祉・家事援助サービス業務の受注拡大・会員の技術・知識の向上を目指して、標記の研修会を実施しますので、希望者は奮ってご応募ください。

1 応募対象

福祉・家事援助班、及び一般会員(福祉・家事援助サービスを第1希望職種にしていない会員)で、全日程を受講できる方(過去の受講者は除く)。

2 研修日程

	月日	時間	教室	講義科目	備考
①	1月15日(金)	13:30~14:00	501号室	オリエンテーション	調理実習費500円
		14:00~17:00		家事援助サービス概論 (対人援助サービスの基礎知識)	
②	1月19日(火)	10:00~14:30	調理実習室 501号室	生活援助Ⅰ ～食事援助編～	エプロン、頭巾
③	1月20日(水)	14:00~17:00	501号室	生活援助Ⅱ ～子育て支援講義編～	
④	1月21日(木)	09:30~12:30	介護実習室 介護実習室	生活援助Ⅲ ～子育て支援実技編～	動きやすい服装 ズボン着用
		13:30~16:30			
⑤	1月26日(火)	14:00~17:00	501号室	生活援助Ⅳ ～介助・介護編～	動きやすい服装、靴
⑥	1月27日(水)	14:00~17:00	501号室	生活援助Ⅴ ～緊急対応編～	動きやすい服装 ズボン着用
⑦	1月28日(木)	13:30~16:30	501号室	生活援助Ⅵ～ペット編～ オリエンテーション	
		16:30~17:00			

3 会場

こうべ市民福祉交流センター
(神戸市中央区磯上通3丁目1-32)
JR三ノ宮駅、阪急・阪神・地下鉄三宮駅から徒歩15分
市バス⑦系統「市民福祉交流センター前」
ポートライナー「貿易センター」から徒歩5分

4 募集人員

30名(応募者多数の場合は抽選)

5 応募方法

「郵便はがき」に右記の要領で研修名、住所、氏名、年齢、会員番号、電話番号を記入して郵送してください。

6 申込先

〒651-0096
神戸市中央区雲井通5丁目3-1
神戸市シルバー人材センター
福祉・家事援助サービス研修係

7 受講料

無料。但し、初日(1月15日)に調理実習に伴う材料費500円を徴収します。

8 申込期限

平成21年11月30日(月)(消印有効)



6	5	1	0	0	9	6
神戸市シルバー人材センター 福祉・家事援助 サービス研修 行						
中央区雲井通5-3-1						

研修名:	福祉・家事援助サービス研修
住所:	_____
氏名:	_____
年齢:	_____
会員番号:	_____
電話番号:	_____

家事援助技能向上研修

受講生募集

家事援助班員の「家事援助サービス」に関する知識の取得及び技能の向上に資するため、下記の研修を開催します。研修の内容に興味・関心のある方は家事援助班員にかかわらず奮って参加してください。

1 研修日程・内容

月日	時間	教室	講義科目
3月4日(木)	14:00~15:30	308 講習室	高齢者のための「いきいき家庭料理」 神戸山手短期大学 生活学科准教授 原 知子

2 会場

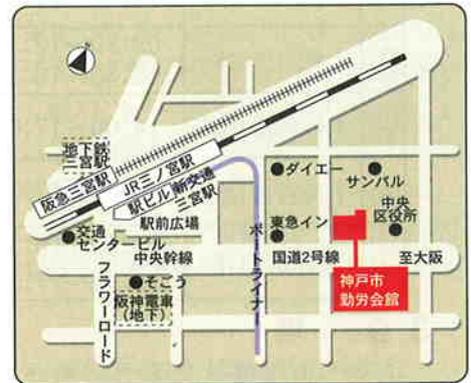
神戸市勤労会館
(神戸市中央区雲井通5丁目1-2)

3 募集人数

会員120人(応募者多数の場合は抽選となります。)

4 応募方法

「往復はがき」に下記の要領で研修名、住所、氏名、年齢、会員番号、電話番号を記入して郵送してください。



往信(表)

651-0096
往信
神戸市シルバー人材センター 家事援助技能 向上研修係 行
中央区雲井通5-3-1

往信(裏)

研修名:家事援助技能 向上研修
住所: _____
氏名: _____
年齢: _____
会員番号: _____
電話番号: _____

返信(表)

□□□□□□
郵便番号もお忘れなく
返信
あなたの住所 氏名

返信(裏)

※記入しないで ください。 結果をお知らせ します。

5 申込先

〒651-0096 神戸市中央区雲井通5丁目3-1
神戸市シルバー人材センター 家事援助技能向上研修係

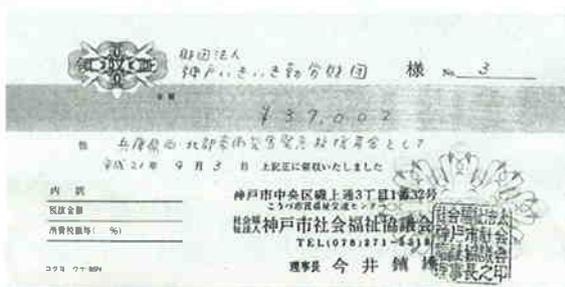
6 受講料 無料

7 申込期限 平成21年12月18日(金) (消印有効)

兵庫県西・北部豪雨災害緊急救援募金へのご協力のお礼

去る9月3日、「いきいきシルバーのつどい」会場（神戸文化ホール）で行いました、兵庫県西・北部豪雨災害緊急救援募金にご協力いただきありがとうございました。

お寄せいただきました募金（37,002円）は、神戸市社会福祉協議会を通じて被災地に届けられました。



北神・西神地区入会説明会を実施しました

10月5日、7日にそれぞれ、北神地域・西神地域で入会希望者説明会を開催しました。北神地域では129名、西神地域では121名の参加者があり、熱心にシルバー人材センター事業の説明に聞き入っておられました。



西神説明会



北神説明会

地域貢献班 住宅用火災警報器を取付けします!!

シルバー人材センターでは、各センターにおいて組織している地域貢献班で「住宅用火災警報器」の取付けを始めます。

取付けをご希望の会員の方は、各センターまでお問い合わせください。警報器は、各自で事前に購入して用意してください。



就業開拓推進プロジェクト通信 Vol 1

会員の皆さんの就業機会の確保に取り組む「神戸市シルバー人材センター就業開拓推進プロジェクト」では、平成21年7月21日の設立以降、随時、全体会議や幹事会を開催するとともに、各センター・本部で設定した個別目標を達成するため、就業開拓の重点化や集中化に向けた取り組みを進めています。

また、本部役職員により神戸市等の外郭団体など約100団体への受注開拓訪問活動を行っています。

就業機会確保の取り組みについては、随時お知らせしますので、会員の皆さんにおかれましても、口コミ等の積極的なPR活動についてご協力いただきますようお願いいたします。

センター だ・よ・り

西部センター

復興のシンボル

「鉄人28号」長田区・若松公園に登場

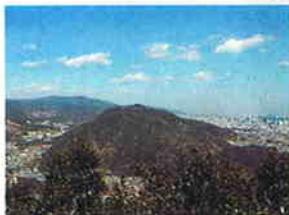
巨大モニュメント「鉄人28号」が10月、JR・地下鉄新長田駅前の若松公園に完成しました。この機会に西部センター所在地長田区の見所を案内します。

復興のシンボル「鉄人28号」

この夏頃から若松公園に「鉄人28号」が胴体・握りこぶしや腕・背中のロケットと除々に、その姿を現わし、最後に頭部が組み立てられて、この10月に完成しました。

この巨大モニュメントは、神戸出身の漫画家・横山光輝先生の代表作で、今なお若年層に人気の高い「三国志」と共に、ロボット漫画の先駆けとなった「鉄人28号」を震災復興のシンボル、そして、広域からの強力な集客力を持つ神戸の新たな観光資源として東のガンダムと共に、いま全国的に注目を集めています。

その概要は、モニュメントの高さ15.3メートル、総重量50トン、制作費1億3千5百万円です。募金活動に、ご尽力いただいたNPO法人の代表者は「製作過程を子ども達に見てもらい、ものづくりの町の再生につなげたい」と期待を込めています。



高取山

区の北部に六甲山系の独立峰として高さ320メートルの高取山がそびえ、山頂からの眺望は気持ちの良いもので、早朝登山や区民の憩いの場となっています。

(ながたの民話より)

ずっと昔、ものすごい洪水があつて、長田や須磨あたりでは、山の頂近くまでが、ことごとく水に没したことがあつた。ようやく水がひいたあと、人々は高取山の頂に登ってみると、山の上の大きな松の木に、たくさんの蛸が八本の足をからませている。その話を聞いたふもとの人々は、息をはずませて山に登り、松の木から蛸を取って帰った。人々は、この時から、その山を「タコ取り山」と呼ぶようになった。それが後に高取山と書くようになったそうです。



長田の食といえば「こなもん」

庶民の味として、長田の街に根付いてきた「ほっかけ」、「そばめし」、「にくてん」があります。みんな牛スジが入って、こてこての味付けです。一度食してみても。

ものづくりの街「ケミカルシューズ」



全国最大のシェアを占めるケミカルシューズ産業の街、平成12年にオープンした「シューズプラザ」は、ケミカルシューズのアンテナショップとケミカルシューズの歴史と展示コーナーがあります。場所はJR・地下鉄「新長田駅」から北側すぐです。

市街地開発で街並みが一変した長田の美しいものを探しに出かけてみてください。

西区センター からの お知らせ

西区センターでは、事業者などから特定の就業受注要望により迅速に応えるために、下記の資格・技能・経験等をお持ちの「登録会員」を募集しています。次の業務への就業登録を希望される会員の方は、西区センターまでお問い合わせください。

■今回「登録会員」を募集する資格・技能・経験等の内容

- ①量販店等で、畜産・水産鮮魚業務の経験を有する方
- ②クリーニング店での就業経験を有する方

☆問い合わせ 西区センター 担当 真殿・森 TEL 993-0066

